

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ① 確かな学力の更なる向上のために、国・都・市の学力調査の結果を踏まえ、学び合う姿勢を大切に、問題解決的な学習や言語活動を積極的に取り入れ、思考力・判断力・表現力を高めるような指導方法の工夫・改善を図った授業を推進する。
- ② 一人一人の学力の向上を図るために、数学・理科・英語では指導方法工夫改善加配教員を活用した少人数授業を行い、さらに英語では英語指導助手の活用をすることにより、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るとともに、生徒の実態に応じた指導の充実を目指す。
- ③ 生徒の関心・意欲の向上を図るために、運動会や合唱コンクール、作品展などの学校行事との関連を図った指導計画を作成し、自己表現の力を深化・発展させる。

イ 道徳

- ① 心身の健康の増進やたくましく生きる力を育てるために、規律ある生活ができ、自他の生命を大切にするとともに思いやりの心が育つよう、道徳教育推進教師を中心として、教育活動全体と道徳の時間との関連付けを図りながら、「命の教育」を推進する。
- ② 人権尊重の精神を育成し、自他の立場を尊重し、思いやり・責任感・協力などの道徳的心情を育成する。また、道徳的実践力を高めるために、赤ちゃんのチカプロジェクトや職場訪問などの体験的な活動の機会を増やすとともに、道徳授業地区公開講座や国立ハンセン病資料館の方の講演会を実施するなど、保護者や地域社会と連携した活動を推進する。

ウ 総合的な学習の時間

- ① 課題設定・解決能力、実践力、表現力・発表力の向上を図るために、「職業や自己の将来に関する学習」・「地域や日本の伝統文化の学習」・「生活における能力向上に関する学習」の3つの内容を設定する。
進路の学習では、キャリア教育の視点を踏まえたねらいを設定し、職業調べや職場体験、上級学校訪問を通して、自己を理解し将来の生き方を考える学習活動を展開していく。地域や日本の伝統文化の学習では、清瀬にゆかりのある「俳句」を活用した学習や、校外学習や修学旅行と関連付けて展開していく。生活力向上の学習では、ルールやマナー、交通機関利用の仕方など、校外学習や職場体験における指導等と関連付け、栄養士と学級担任によるティームティーチングや講師による食育の授業などを展開していく。
- ② 生徒に身近で興味あるテーマを設定することにより、学習や課題に対して自ら進んで探求したり協議することを通して、課題を解決していく能力を育てる。また、レポート等の紙面発表、口頭発表、プレゼンテーションソフトを用いた発表と、発達段階に応じた指導計画を作成することにより、表現力、発表力を育成する。さらに、インターネットや学校図書館を活用することにより、情報収集・活用能力の伸長を図る。

エ 特別活動

- ① 生徒の自治的活動能力を高めるために、意図的・計画的な学級・学年活動をおこない、小集団における自己の役割を遂行できる力を育成するとともに、望ましい人間関係を育てる。
- ② 個性の伸長と他者を尊重する態度を育成するために、運動会や合唱コンクール等の学校行事や生徒会活動を通して、生徒一人一人の活躍する場を大切にし、成就感や充実感を味わわせながら、集団における生活の在り方を学ばせ、集団への所属感を深めさせる。
- ③ 集団や社会の一員として、協力して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な態度を育成する。そのために、生徒会主催のアースデーや募金活動、普通救命講習会などを、保護者や関係機関の協力を得ながら実施し、奉仕活動やボランティア活動などの体験的活動の充実を目指す。

オ 読書活動

図書館運営支援員の活用を図りながら、生徒の自主的・主体的な読書活動を推進し、情操の育成と言語に関する能力の向上を図る。